

News Release

岩谷産業株式会社 広報部

2020年10月22日

LPガスの安定供給に向けた災害対策強化

水害対策を講じたLPGセンターの整備 「Maruigas 災害救援隊」全国一斉訓練の実施

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：間島寛）は、LPガスの安定供給に向けた災害対策強化として、水害リスクの高い50カ所のLPGセンターについて3カ年計画で水害対策の整備を行います。また、10月22日、LPガス販売店組織である「マルギ会」と共に、全国68カ所のLPGセンター等で、災害時を想定した一斉訓練を実施します。

昨年の台風や大雨により、当社郡山LPGセンターのLPガス充填設備や事務所で浸水被害が発生し、LPガスの出荷が停止する事態となりました。その教訓を基に、災害時においても安定的にLPガスの供給が可能な体制を構築するため、全てのLPGセンターの状況を確認し、**水害リスクの高い50カ所のLPGセンターについては、3カ年計画で水害対策の整備を進めます。**本年度では、郡山LPGセンターをはじめとした13カ所のLPGセンターにて、非常用発電機や動力分電盤を高さ2m以上に移設する工事や、LPガス充填機やガスコンプレッサー等の予備品を保管する防災倉庫の設置等を行います。

「マルギ会」では、災害時にLPガスの復旧作業を行う互助組織「Maruigas 災害救援隊」を組織しており、LPガスの有資格者約3,600名の隊員が登録し、民間エネルギー事業者で唯一の全国組織として、災害時には早期に被災地に出動する体制を整えています。現在まで延べ2,002名の隊員が被災地に出動しており、ガス機器の点検・修理等LPガスの早期復旧に貢献しました。

「Maruigas 災害救援隊」は、毎年10月に全国一斉訓練を実施しており、本年は10月22日に全国68カ所のLPGセンター等にて、通報訓練や緊急防災工具やマニュアルの確認等の訓練を実施します。

当社は、LPガス販売店組織「マルギ会」と共に、さまざまな災害を教訓として、今後も「いつ起こるか分からない災害」に備えた訓練やLPGセンターの整備を行い、引き続きLPガスの安定供給に最大限努めてまいります。

◆郡山LPGセンター（福島県郡山市）

水害対策として非常用発電機と動力分電盤を2 m以上に設置



◆「Maui Gas 災害救援隊」2019年10月の訓練の様子

